

N8104-208/212/221 のファームウェア更新について (ダウングレード)

本 Starter Pack S8.10-014.02 に含まれるファームウェアが適用されている場合は、安定動作のためにダウングレードを推奨しております。ファームウェアバージョンを確認した結果、該当する場合は下記の手順を参照してファームウェアを更新(ダウングレード)いただくようお願いいたします。

1 対象製品

LAN/LOM カード

- ・ N8104-208 10/25GBASE 接続 LOM カード(SFP+ 2ch)
- ・ N8104-212 10/25GBASE 接続基本ボード(SFP28/2ch)
- ・ N8104-221 100GBASE 接続基本ボード(QSFP28/2ch)

2 ファームウェアバージョン

下記のファームウェアバージョンが適用されている場合、「3 ファームウェアの入手」以降を参照して指定のファームウェアバージョンに更新(ダウングレード)してください。

Starter Pack S8.10-014.02 に収録されるファームウェアバージョン

対象製品	アダプタ表示名称(System Utilities 上)	バージョン
N8104-208	Intel(R) Ethernet Adapter E810-XXV-2 for OCP 3.0	4.71
N8104-212	Intel(R) Ethernet Network Adapter E810-XXV-2	
N8104-221	Intel(R) Ethernet Network Adapter E810-CQDA2	

【ファームウェアバージョンの確認方法】

- ① 本体装置起動時に<F9>キーを押して、System Utilities メニューを起動します。
- ② System Utilities から「System Information」→「Firmware Information」に進みます。
- ③ 対象製品のファームウェアバージョンを確認します。対象製品の表示名は上記の「アダプタ表示名称(System Utilities 上)」をご確認ください。

3 ファームウェアの入手

下記の URL にアクセスしファームウェアバージョン「4.60」をダウンロードしてください。

ファームウェアバージョン	入手先
4.60	https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010111964

ダウンロードしたデータは後述する iLO Web インターフェイスを実行する装置からアクセスできる装置やデバイスに格納してください。(例:USB フラッシュ、ネットワーク共有ドライブ)

4 ファームウェアの更新

NIC/LOM(OCp)カードのファームウェアを手動で更新するためには、本体装置の iLO 機能にネットワーク接続可能な端末が必要になります。本手順ではネットワーク上の管理端末のウェブブラウザからアクセスした画面(iLO Web インターフェイス)の操作を説明します。

一部本体装置の直接操作の記述もございますが、本体装置の画面を参照/操作する記述については、iLO の統合リモートコンソール機能により対応が可能です。

重要

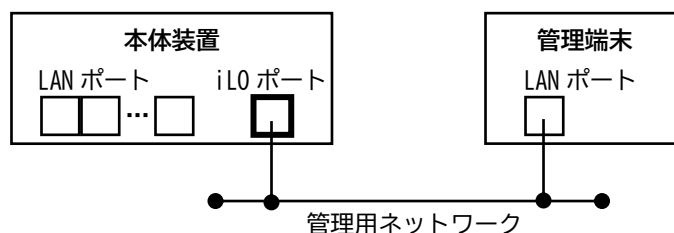
- 本手順はその他のコンポーネントのファームウェア更新と同時に実施しないでください。(N8104-208/212/221 のファームウェア更新のみとしてください)
- AC 電源の OFF/ON の指示においては、必ず AC 電源の OFF/ON 操作を実施してください。再起動や DC 電源の OFF/ON では、更新されない場合があります。

4.1 接続構成

(推奨構成)

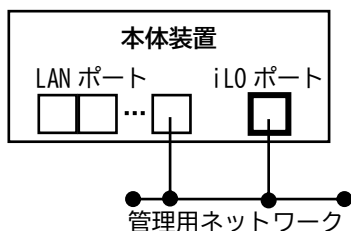
ネットワーク構成：

本体装置の iLO ポートが接続される管理用ネットワークに、管理端末の LAN ポートを接続します。



ポート	IP アドレス (サブネットマスク)
本体装置 iLO ポート	指定はありません。 ※初期値は DHCP ですが、静的 IP アドレスの設定を推奨します (例：192.168.1.58 ネットマスク 255.255.255.0 (24b))
管理端末 LAN ポート	本体装置 iLO ポートに設定された IP アドレスと同じネットワークアドレスに属する IP アドレスを設定してください。 (例：192.168.1.100 ネットマスク 255.255.255.0 (24b))

- ☆ 本体装置 LAN ポートの一つを管理用ネットワークに接続して、本体装置単体で更新することも可能です。その場合、本体装置 LAN ポートの IP アドレスを上記表の「管理端末 LAN ポート」と同様のアドレスに設定してください



4.2 ファームウェア適用手順

本手順は管理用ネットワーク上の管理端末を用いた構成(推奨)での手順です。

※ **本体装置単体の構成で更新する場合**

本体装置の LAN ポートを管理端末 LAN ポート同様に設定し、本手順中の管理端末の操作を本体装置にて実行してください。

この場合、「①本体装置の System Utilities 起動」の実施は不要です。

また「④本体装置の再起動」については、本体装置の OS から再起動を実施してください。

① **本体装置の System Utilities 起動**

本体装置を起動し、起動時に<F9>キーを押して、System Utilities メニューを起動します。

② **iLO Web インターフェイス画面の起動**

管理端末から、WEB ブラウザを起動して、次の URL にアクセスします。

https://(本体装置の iLO ポートの IP アドレス)

iLO7 のログイン画面が表示されるので ID とパスワードを入力します。

③ **ファームウェアの書き込み**

「3 ファームウェアの入手」でダウンロードしたファームウェアデータを書き込みます。

ファームウェアのデータは、あらかじめ iLO Web インターフェイス画面を実行する端末からアクセス可能な場所に格納しておきます。

1) 左ペインの「Firmware」を選択し、右ペインの「Quick Actions」メニューから「Update Firmware」を選択します。

2) 「Update Firmware」画面がポップアップ表示されますので、「File Location」欄で「Local File」を選択します

3) 「Local File Path」欄で「browse」を選択し、製品型番に応じたファイル（*.fwpkg）を指定します。

製品型番	ファイル名
N8104-208	HPE_E810_XXVDA2_SD_OCP_4p60_NCSiwPLDMoMCTP_8001E8B0.fwpkg
N8104-212	HPE_E810_XXVDA2_SD_4p60_PLDMoMCTP_8001E8B3.fwpkg
N8104-221	HPE_E810_CQDA2_4p60_PLDMoMCTP_8001E8B1.fwpkg

4) 「Also store in iLO Repository」のチェックをせずに「Update」をクリックします。

※ 「Confirm TPM Override」チェックボックスが表示されている場合はチェックを入れてください。

⇒ファームウェア更新が始まり、右ペイン上部に更新ステータスがプログレスバーで表示されます。

「Completed.」と表示されるまでお待ちください。（カードあたり 3 分前後の時間を要します）

重要

- N8104-208/212/221 が同時搭載されている場合でも、続けて更新することができます。
- 搭載型番ごとに、手順 1)～4)を実施します。搭載製品の型番に応じたファームウェアファイルを指定して更新してください。
- 搭載型番全ての更新が終了したら、「④ 本体装置の再起動」に進んでください。
- ステータスを示すプログレスバーの更新には少し時間がかかることがあります。
- ファームウェアの更新作業中は本体装置の UID ランプ(青色)が点滅し、更新が完了すると点滅が停止し UID ランプは消灯します。

④ **本体装置の再起動**

管理端末の iLO Web インターフェイスから本体装置を再起動します。

1) 左ペイン「Host」の「Power Controls」を選択し「Virtual Power Button」を表示させます。

2) 「Reset」を選択します。

「Reset」ポップアップ表示されるので「Confirm Reset」をクリックします。

⇒本体装置が再起動します。

⑤ **本体装置の AC 電源 OFF/ON**

本体装置の AC 電源の再接続を実施し、更新を完了させます。

1) 本体装置の OS をシャットダウンします。

2) 本体装置の DC 電源が OFF になったことを確認して、本体装置の AC ケーブルを外します。

3) 30 秒ほど待ってから 再び AC ケーブルを接続します。

⑥ **ファームウェアバージョンの確認**

ファームウェアが更新されたことを確認します。

本体装置の DC 電源を ON にした後、「2 ファームウェアバージョン」を参照して、ファームウェアバージョンが期待されるバージョンになっていることを確認してください。(期待されるバージョン：4. 60)